

12月1日 桂中学校  
文化芸術体験出前講座



日本の伝統芸能である能楽についての知識を深め、親しみ、良さを味わうことを目的として、全校生徒を対象に、文化芸術体験出前講座を実施しました。

当日は、講師12名をお招きして、能楽の鑑賞と、『小鼓』『大鼓』『能面』『謡(歌・舞)』の体験を全生徒ができました。また、学校公開日として保護者の方々も来校し、生徒たちの様子をご覧いただきました。

能楽とは

600年を超える歴史があり、「能」と「狂言」からなる古典芸能。現代に続いている演劇のひとつ。



問合せ 桂中学校 ☎029-289-2052

文芸しろさと

俳句

木々の間の空気の重さ冬初め  
中野 千賀子  
投薬ののどごし苦く冬に入る  
綿引 英子  
咲き盛る山茶花垣根空家なり  
岩澤 とし江  
茶の花の二花一花のしづかなり  
園部 洋一  
柿むいてあまたの日暮れある如し  
飯田 勇一  
磐梯山に低き雨雲冬初め  
竹内 幸子

川柳

惚びたきほどに惚びて冬紅葉  
田口 勝元  
探してるメガネはひたいの上  
車田 綾子  
「あれだよアレ」と言われても  
飯村 孝一  
戦争のなき世を祈る初詣  
川原 清

短歌

ボケ防止クロスワードを解きながら全問できた時の嬉しさ  
信田 育子  
もう永く乗りしことなき飛行機が輝きて行く初冬の空を  
富田 佐智子  
家康の生涯描きし大河ドラマ毎日曜日胸熱くなる  
萩谷 登喜子  
山里に夕やけ小やけの曲流れ老ひのひと日も無事に終りぬ  
渡辺 千紗子  
痛むわけていねいに言えば納得か脳はわが背の辛さをほどく  
西郷 英治

しろさとまち通信  
地域おこし 通信  
—城里町地域おこし協力隊— Vol.93

城里町地域おこし協力隊の連載、1月号は本間友大が担当します！



問合せ  
農業政策課  
☎029-288-3111(内線253)

みなさんこんにちは。昨年8月より東京から移住してきました、地域おこし協力隊の本間と申します。簡単ではございますが、自己紹介をさせていただきます。  
Q 城里町で活動するきっかけは？  
A 東京から離れて、自然豊かな環境で生活をしたかった。移住地を探していました。その中偶然インターネットで見つけた、城里町の農業に携わることのできる協力隊に魅力を感じ応募しました。  
Q どんな活動をしていますか？  
A 昨年8月からは、七会きのこセンターで、菌床栽培の研修を行いました。各種きのこによって、育て方の条件が違い、丁寧に教えていただきました。11月からは、WATANABEファームで、露地栽培(なす・にんじんの)の研修中です。夫婦で運営されており、収穫から出荷まで、すべて二人で行っている姿は、とても参考に

なっております。  
Q 地域おこし協力隊のよいところは？  
A 地域に溶け込みやすいところ。協力隊の活動を通して、年齢、性別、職業問わず、たくさんの方と知り合うことができます。新生活を始めやすいだけではなく、そこで得た経験と知識から新たな挑戦ができることが魅力のひとつです。  
Q 最後に地域おこし協力隊になってみて、感じることは？  
A 人のあたたかさを感じます。全く知らない土地に来て、初めて会う人に囲まれているのに、なぜか懐かしさもあり、居心地が良いところ。皆さんの方が手を差し伸べてくださることに感謝しています。  
以上簡単ではございますが、自己紹介とさせていただきます。町内で見かけた際には、お声掛けいただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。